Nº 365 BASTOS, 7 de ABRIL de 1957 O PROGRESSISTA REG. Nº 4576 Nº 2695 SÃO PAULO A. P.

バストス週報

第三百六十五号
昭和廿二年
四月七日
発行

DIRETOR
KOITI MORI

REDATOR
SHION ODA

RUA PRES. VARGAS 188
C. P 112
BASTOS
C. P

ANUAL
400$—

フジンカイすごい

バストス婦人会がイス・カクトク運動をはじめました。ザアマス族なにほどのことやあらんとたかをくくっていましたところ、あにはからんや、そのはたらきのモーレツなること、とてもとてもコガン族のおよびもつかぬ、あざやかな運動ぶりでありました。

イス・カクトク運動と申しますのは、ごそんじの、われらのカイカシ、すなわちバストス産業会館に、カヂイラを充分作ろうではないかというよびかけです。

昨年、あのカイカンはブタイをひろくし、見物席をひろげ、八百人ぐらい、はいれるようにしたのです。工事の方は、それを実行したのですが、デコレーションの幕などは、婦人会とか日本人会とか、組合や団体で、いくらかつぐ寄附して、どうぞ立派になりました。その他の組合や団体で、いくらかつぐ寄附して、どうぞ立派になりました。ところが、出席がとてもヒンジャクでした。十何年くったカヂイラはこわれたり無くなったりし、その後補給したバンコも三〇%ぐらい、ゆく方不明です。これは、一寸貸してくださいといって、もち出したまま、かえさないことが大きな原因になっていると思います。

ゆゆしい公共団体のビヒンというものは無くなりやすいセイシツのもので、個人のもちものの三倍四倍も紛失のパーセンテイジが大きいのがフツウです。カンリの行届かないということも、原因の一つですが公共心（まア一種のモラルでしょうな）の欠除、ということの方が大きな原因と思います。さいそくされないから、まアいいやというキモチですね。まアあげ出すぐらいのカクゴがなくては、いけません。ビンボウニンには、いたいです。

ところがいいあんばいにバストス婦人会がイス・カクトク運動にのり出してくれることとなりました。

「そんなこと、ヘイチララよ」と婦人会のカンブのかたはムネをたたきました。

ヘイチャラということは、十コントやニ十コントのはしたがねならフジンカイで出すワ。ファルタするブンだけファウメンタしてね、という出番です。こわいのはネコのひげぐらいの婦人会のことですから、

つまり痛いことは言いますまい。一つ一つのバンコに組合のヤキハンは押してないですからね。

そんな古いことをいうより、一つ新しい近代色のあるカヂイラ、せめてシネ・バンデランテスのカヂイラぐらい欲しいねという声が起りました。いろけのある人が、まっとばかり世間によびかけたこともあり、いろいろ組合が自分でつくろうとした出しもあり、なうごきもありましたが、なにぶん百コントばかりかかる仕事ですからオイソレと、立ち上れないのでした。

いいだしべい（イニシアチーブをとる人）は、いきがり上、十コントやニ十コントなげ出すぐらいのカクゴがなくては、いけません。ビンボウニンには、いたいです。

ところがいいあんばいにバストス婦人会がイス・カクトク運動にのり出してくれることとなりました。

「そんなこと、ヘイチララよ」と婦人会のカンブのかたはムネをたたきました。

ヘイチャラということは、十コントやニ十コントのはしたがねならフジンカイで出すワ。ファルタするブンだけファウメンタしてね、という出番です。こわいのはネコのひげぐらいの婦人会のことですから

ALFAIATARIA IMPERIAL
丸山洋服店

ますますスマートでアブストラクトで、

Casa Taroda

ヨイ ヒリョー
ヨイスイカ

バストス
太郎商店
FONE 16

ムヒリョウでヤラズぶったくり、じだいから、いまは、ヨイ、アヅーボをつかって、よい、さくもつを、たくさんとる、じだいになりました。

たとへば、さくねん、バストスで、スイカをつくって、よくできましたね。それは、タロダのヨイ・アヅーボを、つかったからです。

アヅーボのことは、かう、かわぬにかかわらず、タロダのいけんをおききください

ダンナの白ヒゲなど、ちっともこわいこ
とありません。
「何ですね、ネズミひげなどはやして」
てな男でフジンカイが立ち上りました。
ダンナやトノガタは、いかいメイワクです。
考えてもごらんなさい。四十から五十
にナンナンとする美しいオクサンが、こ
んどカイカンにカデイラを新しく作るこ
とになりました。セルベイジャ二、三十メ
ートス倹約して、いくらとは申しませんワ
ねーねーねーてばよう」と、くいさがら
れると、どんなフユミニストでなくとも、
「どうぞ、そのへんで」とついー一コン
トのところは二コントもおす気になるも
のらしいです。
かくて彼女らは去る三月中旬より行動
を起し、連日攻撃を加え、あしたに三コ
ント、夕べに五コントと落城に落城をか
さね、百コントはヒルメシ前、ジャンタ
ー迄には百二十コントを目標にがんばっ
ている由であります。
ところで、もうどの位あつまったろうか
と伺ってみると、かれこれ予定の線に達日
しかけている。まだおあつめになりますウ
かと、たづねると、ついでですから、シッ
ケオの方にも、いくらかおつき合う願うつ
もり、作るならなるべく沃山作る方がいい
いまたといっても中々手がかかりますの
からどのこと、椅子一脚は百五十銭見当
だから六百人分作ると九十コントとなる
。かよわいといわれる彼女たちが、こう
いうすばらしい運動に成功しつつあるの
である。バストスに住む程の人は、あの
カイカンに入らぬことはあるまい、入場
すればイスに腰かける。そう考へて、ど
なたもこんどのフジンカイの運動に協力
してほしいと思うのであります。
尚ア別訪問に歩いて実際威力をふるっ
た方は会長若口夫人、副会長前田夫人、
会計諸夫人、顧問畑中夫人といった幹部
の方々であるが、約十日にわたり熱心に
寄附を募った。意図が美しく計画の筋道
が正しいので、一人もいやな顔をする人
はなく、キモチのよい位すら〳〵と進捗し
ている由である。健闘に深謝する（完）

桑原竹次郎翁　渡伯

和哥山県有田市糸我町に隠居して悠々
自適して居る桑原竹次郎氏は今年七十
四歳だ相であるが益々元気で来る五月
一日出帆のブラジル丸で又々訪伯すると
の通信に接した。今度は第七回目の渡伯
でそうで、いよ〳〵最後となるだろうと
カクゴの程を披瀝している。おそらく民
間人で渡伯回数では第一級であろう。六
七月頃バストスへも来られる由、久ーぶ
りで面白い話がきかれる。

SAPATARIA HAYAKAWA
主催　早川靴店
エスポジソン
はきもの紙上展覧會
良靴簾売（よいくつをやすく）
クツノコトナラ、ハヤカワヘ

第九話　乙彦傑作集

誤植談

浦島乙彦

誤植ということは致方のない事だが、
日本の大新聞、大雑誌でも、校正部や、
校閲部を置き、事務部員がかかり切りに
ウノメ、タカノメで検閲してすら、どんでも
ない誤植が起る。三流雑誌に到っては気
をつけておれば、読むのが苦痛になる程
の誤植校正洩れにぶつかる。
此の通報の如く博学多識、文字の紙（カミ）
ともいう可き糸音さん一人の手になって
さえ時には誤植？誤刻？に出くわすこ
とがある。糸音さんも紙様ではない、人間
だと実は、逆って、うれしくなるのだが、か
って本田猪人氏の名句
○書きつく疎遠の賀状書けという
毒ついて……となっていたのは作者には
気の毒ら、かえって原句以上面白く読まされた。
今手元に大朝日校正を三十年も続けた
その道のヴェテランの新刊著書がある。校
正の苦辛と、その中で出会った傑作を集録
した愉快きわまる著作なのだが、二、三ひ
ろって御紹介する。
○トルストイの生ける屍（しかばね）……が
文選で誤って、トルストイの生ける屁
（へ）　昭和二十七年高良とみ女史の口
シア入りの新聞報導の一節にある。
○明治大帝（ケンテイ）
気をつけていないと、そのままタイテイ
の人が大帝とよんでしまうかも知れな
いが、この誤植のため右翼団体が毎日
押しかけ、遂に警官が出動して、その出
版社の門を固めたというから、時代が
時代とは言へ恐ろしい話、しかも此の
出版社たるや国粋主義のバリバリの講
談社、野間初代社長存命中の出来ごと。
○日本中コシケの氾濫
医学雑誌でもなければ、婦人雑誌の広
告でもない。戸塚文子さんの編輯する

「旅」の見出し！

どこの土産物店でも売っているコケシのが又面白い、誤植を指摘した筈の此の書に誤植があった。

（画龍点睛）を文選が天晴と拾った。龍を画いてヒトミ（睛）を入れたら、たちまち天に昇ったという故事から来た話だが文選ではハレル（晴）のまちがいだろうと間違ったわけだ。おまけに文選クン、ハレルなら、点ではない天だと、あやまりを重ねてしまった。

「天晴アッパレ」な本だ「画龍点睛を欠いたね」と冷かされた由。「校正恐るべしでございますね」と著書はあやまっている。

（本稿了）

○春畫や教会造の機械の音　草田男

中村草田男先生の句だから分らんのが当り前。雞解宗の本山住職のこと、とそのまま読んでいたら、これは春畫（シュンチュウ）の誤植、いくら新傾向でもシュンがとはひどすぎる、ところが校正係は俳人で自分では何の疑うべもなくシュンチュウと読んで通したというから、寺問のつながりもあてにならない。

○イカレポンチ

先日上映された「自由学校」の登場人物は作者岩田豊雄（獅子文六）氏の話では関西のボンチのつもりで原稿にそう書いたのをポンチと新聞で誤って出したため、そのままポンチにしたと言う。校正子に押し負かされたものらしい。

その自由学校で新聞の一版に「羽根田も、そのころは小僧（こぞう）らしい男だった」とあった。原稿を調べたら「小憎（こにくらしい）らしい男」で二版から改めたそうだが小僧と、小憎らしいでは内容が大分ちがってくる。

○手鏡に深秋の額あるばかり　大納言

修水「気の利いた句だが、いえべいかと思ってハアいだいだよ」

南子「深秋の額というのは、どんな額か、秋も、いにめりてなッラだろう、男か女か？　わしゃア女だと思っとる、春たウの額でも夏暑の額でも、うつりがわるく、深秋といってはじめて、ふジワの多いヒフの乾いた四十女の額をレンソウできる。修水でけないがキガキイとる」

深秋の貌

灌佛會（カンブツエ）とは何

四月八日はお釈迦様の誕生日である。シャカムニは仏教を開いた元祖、ソクラテス、キリスト、孔子と共に世界四聖といわれている。印度カビラ城主浄飯王の子、母は摩耶夫人、名は喬荅摩（ゴウタマ）悉達太子と言はれていたが二十九歳の時生老病死の四苦を救うために宮殿を遁れて苦学苦行し、三十五歳菩提樹下に正座して始めて、さとりを開き、これより法を説くこと四十五年、西紀前四八五年入滅、時に年八十であった。（人皇第六代孝安天皇の七年という）

四月八日の釈尊降誕日を祝って各寺院では甘茶を作り、花御堂をしつらえ、仏像を安置して、小杓で以て仏像に甘茶をそそぐ儀式を灌佛会という。

誕生会、龍華会、浴佛節、花まつり、などとなえ、この日善男善女は寺へ参詣してシャカ三尊を拝み、甘茶をもらって帰るのであるが、古い移民さんでも四十、五十の人なつ故郷の寺の少年或は青年時代の思い出がある（ユキシラ）ことだろう。

○甘茶（虎耳草科）の落葉灌木、葉は卵形対生、花はあじさいに似ている。葉を干て湯に浸すと、淡い黄色の汁となる

釋尊降誕會

おしゃかさまのうまれなさったひは四月八日ですが（一日くり上げ）

四月七日（ドミンゴ）　午后七時より

灌佛（カンブツエ）会を執行、

お釈迦様のごたんじょうを祝い甘茶供養をいたします。

その外　余興として　○○○○

お釋様のゲントウ

を映写いたします故　ご近所お誘いで御詣り下さい

バストス梵　真寺

各位

作文

カルナバールのある日

浅野優子

今年のカルナバルは思ったより、にぎやかでした。でもよその町はどうかしら、と思っていますと、ヤブウチさんの自動車がツパンに行くのでつれていってもらいました。ツパンのカルナバールのお祭は、バストスよりもずっとにぎやかでした。アベニーダには、たくさんの人達がお祭りを見に来ていましたので、道の両がわは歩くのが、やっとのことでした。私はツパンの町にはあまり来たことがないので、町を見物して歩きました。きれいな町だなと思いながら、ぐるっと一とまわりしました。思ったほど大きな町でもなく、またあまり小くもありません。バストスも、ツパンぐらいの大さだとよいかなどと思いました。自動車行列やファンタジアの人たちのうたごえをきいて時すぎツパンの町を出て、バストスへついたのは十一時ごろでした。自動車がバストスの町へはいったとき、ツパンとくらべてバストスは、ほ人とに静かでした。カルナバルだというのに、もう町を歩いている人も少く、電燈もくらく、しーんとしていました。

LIVRARIA KOBAYASHI

ジナージオ・サンジョゼで
つかう リーブロ
ポルトグース・イングレース
フランセーズ・ラチーノ
一切取扱って居ります

高等商業
師範学校 用
リーブロ一切
ジショナリオ・参考書
グルポ・エスコラール用
リーブロいろ〳〵

さいほう・あみもの のレビスタ
その他御入用の本は、いつでも
すぐ・とりよせますから、どう
ぞ、御利用下さい

オ・バステンセ
小林
書籍店

サンジョゼ中学父兄会

去る三月三十日(土)正午より産業会館でサンジョゼ中学父兄会が開かれた、山中役員氏が学校当局から発表されたパランセッテを読上げたのによると、昨年度支出合計 一〇一:三〇四cr 七七:八七〇cr 差引大変な赤字になるということであった。教員も最低月額九コントを保証してくれと申出で居るから、本年度から月謝の値上げをするより道はなかろうとのことであった。種々細かい質疑応答の結果、月謝及入学料後掲料共

一年生二四〇〇新、二年生二七〇〇新
三年生三〇〇〇新、四年生三二〇〇新

商業師範三三〇〇新平均(以上年額)

とし之を十ヶ月に払込むことに満場異議なく承認した。即ち一年は二四〇新宛十ヶ月納入することになる。

尚役員改選の結果左の六氏が監事に当選、中学運営について相談を受けることになった。

上西恭治、柏本久雄、山中陽之助、佐々木久輔、前山義雄、八重樫辰見の諸氏

MAQUINA de COSTURA "SINGER" Casa Taroda

シンガーミシン

プレスタン少々変更おしらせ

現金 一一,九八〇cr〇〇

四回払 一二,一二五cr五〇
入金 三,一二五cr五〇
三回 三,〇〇〇cr〇〇宛

十一回払 一二,六九〇cr〇〇
入金 二,六九〇cr〇〇
十回 一,〇〇〇cr〇〇宛

十六回払 一三,三九五cr〇〇
入金 二,一四五cr〇〇
十五回 二,八九五cr〇〇
七五〇cr〇〇宛

廿五回払 一四,一〇〇cr〇〇
入金 二,一四〇cr〇〇
廿四回 五四〇cr〇〇宛
五〇cr〇〇

値上りのない内御申込み下さい

代理店 太郎田商店

スエズ運河ものがたり

②

前回スエズ運河の長さを一六〇キロと書く可き処、〇を一つ脱落して一六キロとしてしまったので訂正します。

英佛の出兵は世界のもの笑い

今から五年前エジプトで"共和制革命"が起りファルク王という余りエラクない王様をおっぱらってしまった。この王様は国家の利益より自分の私利を先にする人で、この王様をとりまく宮廷の役人上層部もたいてい私利を計るに汲々たる有様。そこに目をつけた、ナセル大佐がナギブ将軍をかつぎ上げてクーデーをやって王政をテンプクしてしまった。（一九五二年七月）その後ナセル暗殺陰謀事件というのがあったが未然に判明しナギブ首相が之れに関係があったのでナセルはナギブを捕えて幽閉してしまった。そして一九五六年六月国民投票を行い圧倒的多数で新憲法が通過しエジプト共和国初代大統領に就任した。

ナセルとは、そういうエラものである。だからエジプト国内を貫通して居るスエズ運河を守備する英仏の軍隊が駐屯するのは面白くない。守備はこちらで引受け

少年野球リーグ戦

来る四月十四日 正九時より（中央グランド）

カスカッタ・中央・アルトの三チームがリーグ戦を行います

本年の全伯出場を目標にして居ります故 御後援を願います

少年チームに練習の時間を与え、球場を時間通り使用させてやって下さい

御礼

去る三月廿一日、資金捻出のためシネマの夕を催しました節は賑々しく御来場を賜わり八コントス余の純益を得ましたので会館椅子寄附帖へ繰入れました、厚く御礼申上げます

バストス婦人會

各位

Dia 16 de Abril as 8 horas no Cine Bandeirante

嫁とよばれてまだ三月

渡辺 篤 峯 幸子 主演の大悲劇

Em Plena Lua de Mel

子は誰のもの

Criança Sem Lar

花井蘭子 月岡千秋 高田稔 小畑やすー

○名子役小畑やすしのシンに迫る演技

○三門博の名浪曲、思わず涙をさそう名篇

不敗の子

Alma Convencida
Invencivel

このフィルムは去る三月十八日当地で上映されたアメリカ野球映画で、すばらしく好評でした、皆様の御要望にこたえ再上映いたします

以上三本立て、堂々四時間、充分御期待に副ふシネマの夕です

部員が入場券を廻りますから、野球応援のおつもりで多少にかかわらず御買上げ下さい（二十銭）です

四月十六日夜八時 シネバンディランテスに於て上映

主催 ブルアブラジル

ます。貴国の軍隊は引上げて下さい。やっきもっきと騒いで、とうとう、昨年六月英仏軍を撤退させてしまった。英軍はキプロス島へ、佛軍はマルタ島へそれぞれ引上げた。そのあとで七月二十六日、共和革命記念日にナセルは爆弾宣言をやってスエズ運河をエジプトに回収してしまった。運河地帯は一八六九年から一九六八年迄九十九年間運河会社に貸していたのだが、この租借権を一方的に破棄してしまったのである。

英仏はカンカンに怒って昨年十月廿一日行動を起し、即日アレキサンドリア、カイロ、ポートサイド等重要地点を空襲バクゲキした。仏軍は軍艦でアレキサンドリアを砲撃している。翌廿二日には英軍はポートサイドへ落下傘部隊でスエズ港まで占領してしまった。

ナセルはかねて覚悟であったものか「英仏の攻撃を受けた場合、エジプト人は、いかなることがあって主権を守れ」と国民によびかけていた。

エジプトにとって倖なことは、世界の目がエジプトに同情的で、英仏出兵がモギドーをとっている点である。それはどういうわけかというと、ナセルが運河国有化を宣言して以後もスエズ運河通過船舶数もかわらないし、不評判も起らず、英仏船は通行料をそれぞれ本国の運河会社に納めてもエジプトは、いやな顔をせず今迄通り通行を保証しているので、エジプト側に落度はない。それにも、かかわらずお出兵するのは軍力で弱国をおさえつけるものだ、とヒナンするわけである。

エジプトは国連に提訴した。

○アラブ諸国の動向

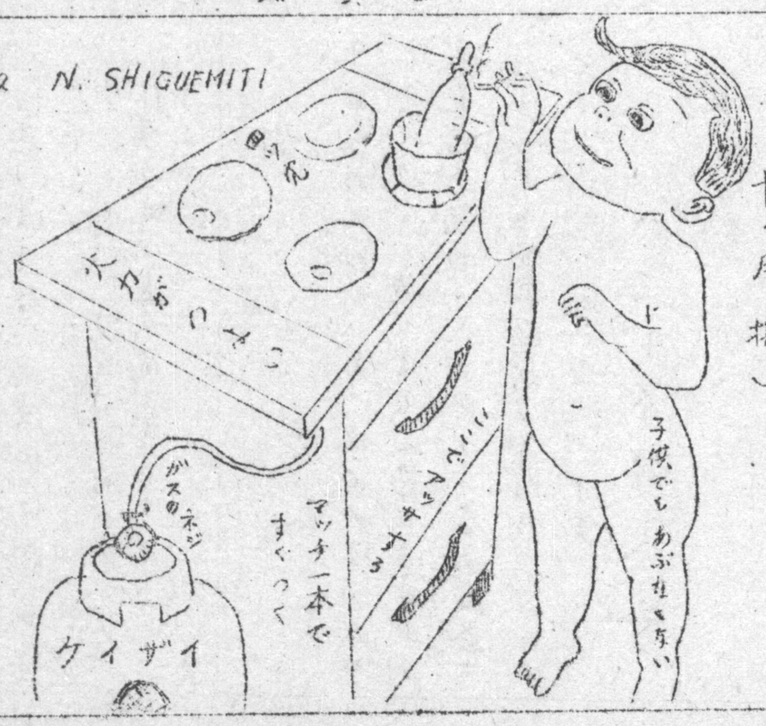
エジプトの近隣、シリア、レバノン、ヨルダン、サウジアラビヤ、イエメン、リビア、スダンなどの八ヶ国はアラビア人の国家で民族主義運動では最近活潑な動きを見せて居るので、エジプトが英仏から攻撃された日、十月三十一日以後、十一月二日迄に、エジプトを救援する為めに、多くは英仏と国交を断絶しエジプト国内に軍隊を送り出した。

イスラエルはエジプトと仲がわるいから、このドサクサに乗じて出兵し、かすとよばれるシナイ半島地方を占領した。

さアこうなると世界大戦のきっかけになるので国連はあわてて仲入した。英仏は出兵の大義名分がたず、世界中からわるく言はれ、たのみとする米国も、やな顔をするので、八方ふさがりとなり、シンリヤク者よばわりをされるので国連にまかせるといって撤兵した。

国連が警察軍を送り、ブラジルからも五百名程兵隊さんが出かけたのは、つい去年の暮れのことだった。

Casa Colonia N. SHIGUEMITI



一度お立ちよりになって実物をごらん下さい

アデマール街

重道商店

F. NE 二十七

FOGÃO DÁKO

フォゴン・ダーコ

薪のない時代が参りました

ガス でお台所を明るくしましょう

フォゴン・ダーコはリキガスを使用します

リキガスは皆様御存知のガス果で、有名な ガス會社であります

月賦販賣の相談に應じます

四ヶ月拂
六ヶ月拂
十ヶ月拂 の三種あります

Debulha de Milho

新しいマキナ 到着

一層能率が上り仕事が早い

みーりよ 脱粒は

左記へ御申込み下さい

カンポス・サーレス街 野沢一衛

又はアデマル街角の鶏卵組合 阿部新蔵へ

7 - ABR - 57

ソ連も中共も、エジプト問題に介入したくてたまらぬ様子が見えた。彼らはするいから国家としてでなく、義勇軍と称して送るのである。朝鮮でマッカーサー君が此の手で中共にやられ、ネをあげたにがい記憶がある。ソ連も中共も、ハッキリと英仏が帝国主義的な侵略をやめなければ義勇軍を介入させると發表したので、英仏も驚いたが国連もびっくりして、戦争をやめさせ、運河問題はエジプト対英仏の話合できめさせることになった。まづこれで英仏は、面子まるつぶれ、エジプトの成功でケリとなりそうだが、米国が運河を国際管理策の後押しをすると、まだ少しごたごたするもようである。ナセルがそれに応ずるかどうか。

エジプト側の国有宣言は正しいか？

ナセルのやった運河国有宣言は、一方的なもので、国際法の上から見て正しいかどうか。この問題について論議をかかげ或は之れにメスを入れている新聞雑誌は今の所ないようである。中国が中共となり英国の支配力に対抗できる力ができたとき治外法権的な租界回收を、天津、上海、漢口、香港等でやってのけたことがある。英国はおとなしく、返却に応じて事なきを得たが、あんな程度のことでおさまるものだろうか。

ナセルもその手を使ったのだが直接の原因は、エジプトが砂漠地帯で耕地が少いからアスワン・ダムを作り灌漑設備を計画して、英米に少し貸してくれといった、ところが蹴られた。よしそれなら運河を回收すれば事一億ドルは入ってくる、金など借りるより手取り早いと計算したのだそうだ、どちらにしても強引な手ではある。

事態紛乱はイスラエルにあるか

こんどのスエズ運河出兵の英仏のキペンは、イスラエルがエジプト領土内シナイ半島ガザ地方へ兵を出したので、スエズ運河を守るんだという名目（口実）であった。運河地方でイスラエル軍とエジプト軍が戦ったら運河の交通が危いというのだが、このトメオトコ、イスラエル軍をかばってエジプト軍だけたたきつけた妙なとめ方もあるものだ。尤も英仏にとってはナセルはにくい奴である。ガンとたたくが、あわよくば葬ってしまいたいので、運河守備を口実として、エジプト軍と交戦し、ついで運河通過中の汽船に一発かませて沈めてしまった、沈んだ船の国籍と数は發表されてないが、その為め運河の通行は何日かとまってしまった。運河を守ると言い乍ら、自分の手でとめてしまった、英仏の評判はガゼン悪くなって、ミソクソに言われた。

大理石墓標（マルモレのハカ）

コノタビ、サンパウロノ石材工場（セキザイコウジョウ）ト特約イタシ、マルモレ其他ノ石材デ、色々ノ墓石ノ、ゴ註文ヲ御引受ケスルコトニナリマシタ。（ビアジャンテヘ註文サレルヨリ、ヨホド安クツキマス）

○カタログヲ御一覧下サイ

ウキボリ、スカシボリ
空洞式、ミガキ式
おこのみに応ず

造石（ツクリイシ）細工　墓標
風呂流シ台、水桶、タイル張
養鶏用水飲器、セメント細工一式
御一覧下さい

杉山人造石工場

C.P 261 BASTOS

サンパウロ郊外の
タカラの山？？

○聖市の近く百キロ米の所に、原始林があるとは全く、ウソのような事実です。

○ブラソ・グランデのジュキチバ町より二十五キロの山林、論より証拠、現在日本人家族三〇、伯人家族十一、が入植。

○四千アルケール分譲開始

○一アルケールからの收益
木炭　四千俵　時価一五二コント
トーラ　六十米ウビコ　〃　九〇コント

○バナナ、珈琲　等すばらしく育つ。

○聖市、クリチバ間軍用道路、植民地の中央を貫通す。

ソシエダーデ・テリトリアール・ド・ブラジル
バストス代理人
戸田源作（南銀支店前）

百聞、一見に如かずと申します。投資されるだけでも何倍かの利益になる宝の山です。ぜひ、ご視察下さい。御来内いたします。地代支払簡易好條件

DEBULHA "PENHA" MILHO

ペンニアの新式機で
みーりよの脱粒
御用命に応じます
快速・確実
御申込は左記へ
バストス産業組合内 松本
共営 竹内義輝
ネルソン内馬場

ではイスラエルとは、どんな國？

イスラエルはユダヤ人が八年前にパレスタインに建国した新しい国だ、西紀前十世紀に、イスラエル及ユダヤ両国共繁栄したが、アッシリヤ、バビロニア等の強国にせされ民族は世界に四散した。が不思議に雑婚せず、プーラのまゝ大多数が現在に及んでいる。

彼らは帰る祖國がなかったのだが、第一次大戦中英外相バルフォアの「パレスチナをユダヤ人返還」の宣言を相にシオニズムという運動を始めた。ユダヤ人はシオンの聖地へ帰れという民族的郷土建設運動である。英国は、その時エジプト糸務官マクマホンを以て「アラビア人の居住地の独立を承認する」といわしめた。

この二枚舌におどらされて、ユダヤ人とアラビア人の反目は益々烈しくなり、今から足掛九年前、パレスチナにユダヤ共和国が生れると、アラビア人は承知せずとうとう、ユダヤ対アラブの戦争となり、ユダヤ人の勝利となって一先づ片りとなった。

このイスラエル共和国は日本の四国位の大さで人口百七十万、現大統領は初代で、ベン・グリオンという傑物、世界中のユダヤ人ユダヤ系の献金で財政も豊か、兵器も近代的である。エジプト始めアラブ諸国とは休戦はしているが国交回復してに居らず、イスラエルを追い出されたアラビア人達の難民が、シナイ半島でゲリラ隊となり、国境を侵すという名目のもとに出兵しエジプトと事をかまえた。スエス問題は、これがキッカケとなって、はじまったといわれる。これは英仏と内々談解の上でやったことだとうたがわれているようだ。アラブ諸国は目下兵力は懐備の上で劣悪だから、今の内にやっつけてやろうというのがイスエルの肚の内などと見られている。四国敵国の中でイスラエルの存在小国が果して、のびて行けるものかどうか、宿命という恐ろしいリンネの中でどういう解決がまつているだろうか、今世界中の目は、この一点に集っているようである。（系）

○学生用 ○婦人用
○紳士用
新型新式腕時計
堅牢・優美・安価
そして高田の保障付き
八五〇円より 各種
安くて、よい時計
其他
オメガ・チソット
等入荷いたしました
カネッタ 51 21 特価提供
指輪 首飾 いろ〳〵

Relojoaria Takata
高田時計店
ポント デ オニブス前

新荷御知らせ
裁縫用品部を新設しまして
左記の商品が入荷いたしました
○ジッピ、ガンショ、フイッタ
○はり、ボトン、コース
○コルカッテ、糸、ジギザギ
○タチ紙、メートル、その他いろ〳〵
多少に不拘御用命下さい
ポント前 誠実本位
カンタラ

書籍・雑誌・など
古本を賣り度いか
は、御世話をいたします
御相談にお越し下さい

(nº 31) Continuação SEM FAMILIA Hector Malot

- Não, respondi em francês.

- Ah! disse ele com tristeza, fixando em mim os seus grandes olhos tanto pior, gostaria que fosse da terra.

- De qual terra? - De Lucca; poderia talvez dar-me noticias.

- Sou francês. - Ah! tanto melhor.

- Gosta mais dos franceses que dos italianos?

- Não, e não é por mim que digo tanto melhor, é por si; porque se fosse italiano, viria provavelmente aqui para estar ao serviço do signor Garofoli; e não se diz tanto melhor aqueles que entram para o serviço do signor padrone.

Estas palavras não era muito proprias para me animarem.

- É mau?

O pequeno não respondeu a esta interrogação direta, mas o olhar que fixou em mim foi duma eloquencia espantosa. Depois, como se não quisesse continuar uma conversa neste assunto voltou-se as costas e dirigiu-se para uma grande chaminé que ocupava a extremidade do quarto.

Ardia um bom lume de lenha nessa chaminé e diante desse lume estava fervendo um enorme caldeirão. Aproximei-me então da chaminé para me aquecer, e reparei que esse caldeirão tinha o seu quê de extraordinario, que eu ao principio não vira. A tampa, tendo em cima um tubo estreito pelo qual saia o vapor, estava presa ao caldeirão, dum lado por um eixo do outro lado por um cadeado.

Eu percebera que nao devia fazer perguntas indiscretas a respeito de Garofoli, mas a respeito do caldeirão?

- Para que está fechado a cadeado?

- Para eu não poder tomar uma tijela de caldo. Eu é que estou encarregado de fazer a sopa, mas o patraõ não tem confiança em mim.

Não pude deixar de sorrir.

- Ri-se, continuou ele com tristeza, porque julga que sou guloso. No meu lugar se-lo-ia talvez tanto como eu. É verdade que eu nao sou guloso; o que estou e esfomeado, e o cheiro da sopa que sai por aquele tubo torna-me a fome ainda mais cruel.

- Então o senhor Garofoli deixa-o morrer de fome?

- Se entrar aqui para o serviço dele saberá que se não morre de fome; sofre-se unicamente. Eu, sobretudo, porque é um castigo.

- Um castigo! morrer de fome.

- Se Garofoli vier a ser seu patraõ, o meu exemplo poderá servir-lhe. O signor Garofoli é meu tio e tomou-me para junto dele por caridade Devo dizer-lhe que minha maẽ é viuva, e como deve imaginar, não é rica. Garofoli veiu à nossa terra no ano passado para arranjar crianças, e propos levar-me. A minha maẽ custara-lhe deixar-me ir; mas bem sabe, quando é preciso... E era preciso porque eramos seis crianças em casa e eu o mais velho. Garofoli teria preferido levar com ele meu irmão Leonardo que está logo abaixo de mim, porque Leonardo é bonito enquanto sou feio. E para ganhar dinheiro; é preciso não ser feio; os que são feios recebem só pancadas ou más palavras. Mas minha maẽ não quis dar Leonardo: "Mattia é que é o mais velho, disse ela, é a Mattia que pertence ir , já que um tem que ir; foi Deus que o designou, não me atrevo a mudar as regras de Deus". Eis-nos pois a caminho com o meu tio Garofoli; imagine bem como devia ter sido cruel deixar a casa, a minha maẽ que chorava, a minha irmaẽzinha Cristina, que gostava muito de mim, porque era a ultima e eu fazia-a sempre ao colo; e depois tambem os meus irmãos os meus camaradas, a aldeia.

Eu sabia o que havia de cruel naquelas separaçoẽs e não me esquecera do aperto de coração que me sufocava quando vira pela ultima vez a touca branca da mãe Barberin.

O pequeno Mattia continuou a sua narração.

- Ao deixar a casa, continuou Mattia, estava sozinho com Garofoli; mas no fim de oito dias eramos uma duzia, e pusemo-nos a caminho para França, Ah! foi bem comprido o caminho para mim e para os camaradas, que estavam igualmente tristes. Finalmente, chegou-se a Paris. Ja eramos só onze porque um ficara no hospital de Dijon. Em Paris fez-se uma escolha entre nos, os que eram fortes foram destinados a limpar chaminés; os que não eram bastante fortes para trabalhar, iam cantar ou tocar sanfona pelas ruas. Já se vê, eu não era bastante forte para trabalhar e parece que era demasiado feio para ganhar um bom salario tocando sanfona. Então Garofoli, deu-me dois ratinhos brancos que eu tinha de mostrar ás portas, nos becos e travessas, e fixou-me o salario de trinta soldos.

(continua).-

Chama Viva 2ª Época

Dia 12 e 13 as 8 Horas de Tarde

この世の花

第2部

川喜多雄二　渋島恵子
水原真知子　片山明彦

愛情のない不幸な結婚！汚職事件に連座した父の自殺！　そして冷たい世間の眼！　何不自由なく育った令嬢が政界結婚の犠牲となって迎えねばならない人生の苦悩！

全日本の人々の血を湧かせ、涙を絞った大ロマンス！「この世の花」第二部

いよいよ　バストスのスクリーンへ！

朝日ニュース第三号　同時上映

世の多くのお父さんお母さんたちに贈る、男女青年の方々のよき指針！　お見逃しのないように。

四月十二日、十三日　夜八時より

シネ・ポンペイア

靴修繕専門店

を開業いたしました

迅速叮嚀！

どしどし御用命下さい

場所　植木商店筋向い

角藤忠雄

Nossa Relojoaria

Av. TAMOIOS 785 TUPÃ

時計・貴金属
めがね　指輪

修繕迅速ガランチード
最も信用をいただいている当店へ！

ツパン市アベニーダ タモヨ 785

ノッサ・トケイ店

北南米 股旅 始末記

（続き）

サイトウ・ノーシチロさんの股旅記は前回で一応完了、第二巻の終りという処です。原稿がカボウしたからですが、カンジンの筆者が日本へ帰ってしまったからです。掲載ずみの分は昨年暮、バストス来てゴロリタの上タ島氏の家又は池田旅館で執筆したもので一枚か二枚宛届けに来ました。今年に入ってからサイトウ老、どこか田舎にでも別れを告げる為めか行衛がわからなくなり、連絡が断えてしまいました。その内に訪ねて来たら、稿料の代りに銭別なりと上げ度いと思っていたら、先月上旬桑船！てしまったというお話をあとでお聞きました。サイトウ老からは、化学工業という一文を別に受取っています。それは炭酸マギネジア製造に関する工程や、原料又は機械の揃えなどの記述で、砂をかむような文章でしょう。週報へのせて見たところで、よみものとなりそうもないので、そのまゝ有かっています。一週間に少くとも二度位訪問した彼老が帰国前立ようなかったことも不思議ですが、そういう点が若いときからの放浪癖かも知れません。何れにしても変った歩き方をした人として印象にのこる一人物のようでもあります。